

## 仙台市障害者相談員によります福祉学習を実施しました ～仙台市立錦ヶ丘小学校編～

平成30年7月31日  
社会福祉法人仙台市障害者福祉協会

平成30年7月9日（月）、11日（水）、12日（木）に行われました仙台市立錦ヶ丘小学校4年生の総合的な学習の時間（福祉学習）に、仙台市障害者相談員等の障害当事者が講師として訪問しました。

平成30年7月9日（月）の「視覚障害に関する講話」では、仙台市障害者相談員の嶋原真一さんが講師を担当しました。生徒の皆さんに対して視覚障害者の生活について、食べにくいものクイズなどを交えながらお話をしました。また、点字体験を行い、生徒の皆さんも関心を持ちながら積極的に取り組まれていました。

平成30年7月10日（水）・11日（木）の「肢体障害に関する講話と体験」をテーマでは、仙台市障害者相談員の佐藤孝志さんと仙台ポリオの会の菊池まり子さんが講師を担当しました。佐藤孝志さんからは義足をつけている方の生活についてお話をし、また、菊池まり子さんはマットの上での車いす操作について説明と体験をしていただきました。車いす使用者をはじめとした下肢障害者の配慮について学んでいただきました。

障害理解や障害者への配慮事項については、障害当事者が説明することで初めて説得力のあるものとなり、説明を受ける側に対して心が伝わります。今後も障害者相談員活動の中核として福祉学習への貢献を推進してまいります。



嶋原さんの講話について積極的な質問をいただきました。



下肢障害のある方のお話に関心をもち、心を引き込まれている様子でした。